

もくじ
製品寸法図
納まり図
ホルムアルデヒド発散区分資料
梱包部品の確認
安全上のご注意
施工上のご注意
本体の組み立て・施工
扉の取り付け
扉の調整

警告表示の種類と内容
弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

■危険の定義とシンボルマーク
誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■警告図記号について
本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

「してはけない」を示します。
「注意すること」を示します。
「必ず行なうべきこと」を示します。

DAIKEN株式会社 250926-JK-127CLP4SM

木質材料の性質について

木質収納扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた収納扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、収納扉周辺の湿度、温度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、収納扉の室内側と収納扉側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

■施工の際は以下の工具をご用意ください。
●電動ドリル(+2番ビット)
●水準器
●下げ振り
●丸ノコ
●ハンマー

【「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について】
ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。
①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、収納扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内側と収納扉側の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
③収納扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を掛けて日光を遮ってください。
発生した「反り」は室内側と収納扉側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

製品の保証について

製品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品
クローク収納 RSシリーズ 4方枠

■保証事項
通常の環境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間参照）を無料で修理します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

■保証期間
製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。
①建物の設計・施工に起因する不具合
②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合

④室内であっても部屋内外の温度差が著しく露点湿度に近づけられたことによる腐蝕・反り・キシミ音などの不具合
⑤極端に乾燥を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
⑥建物自体の変形・入居後における増改築や改修等に起因する不具合
⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化腐蝕などの不具合
⑩用途外に使用された場合の故障および損害
（例えば、一般家庭用を業務用に、室内用を屋外に使用された場合等）
⑪大・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキツムシなどの虫害に起因する不具合
⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
⑬保証期間経過後の修理については有料となります。
⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
⑮難燃などの遮断地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
⑯その他当該不具合の発生が弊社の責にやらない場合
※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガスや異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!
登録はこちら
<https://www.daiken.jp/qr/user/>

お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

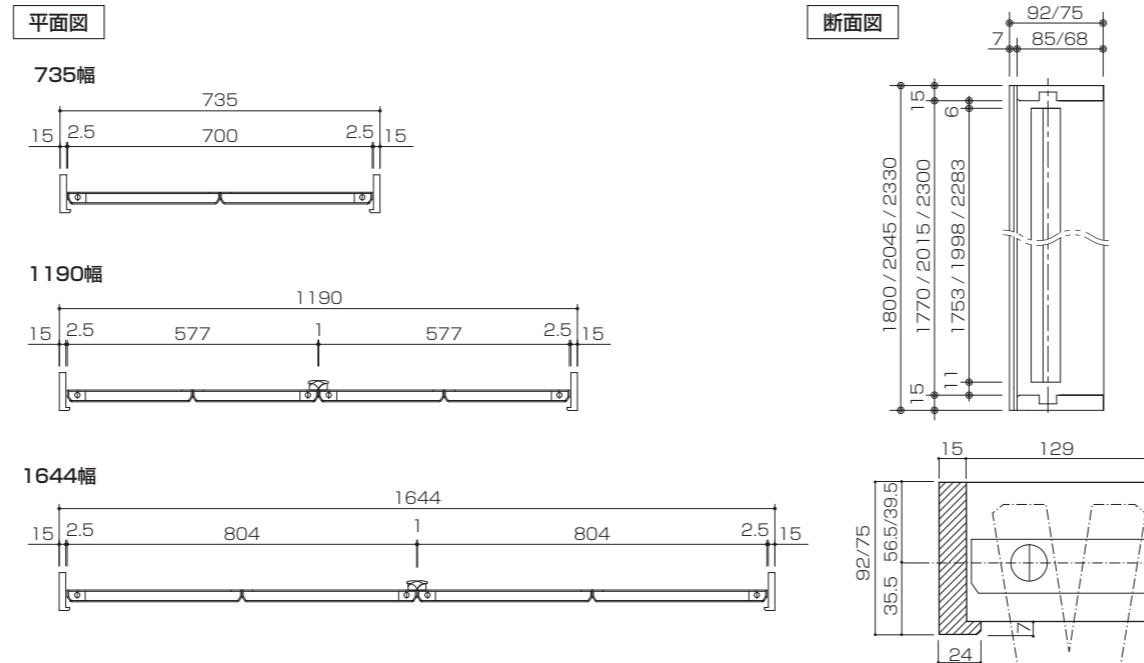
製品に関するお問い合わせ
DAIKENお客様センター
☎0120-787-505
（フリーダイヤル）
●受付時間：平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始はお客様センターが休みです）
<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで写真も送ることができます。
修理・交換部品のご購入の方は
DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
※購入には登録が必要です。
<https://www.daiken.jp/qr/service/>
【DAIKENホームページ】【お返さまでポート】
▶▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

仕様変更履歴

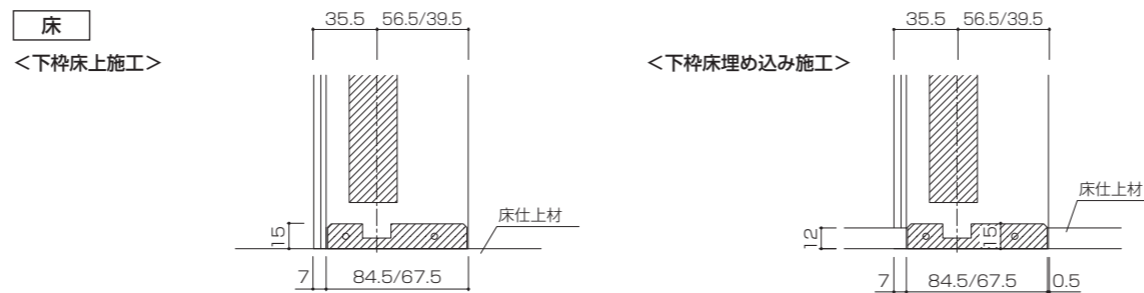
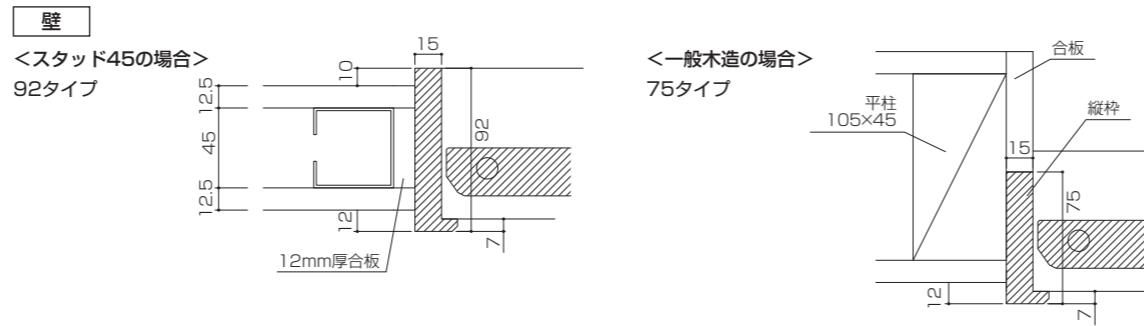
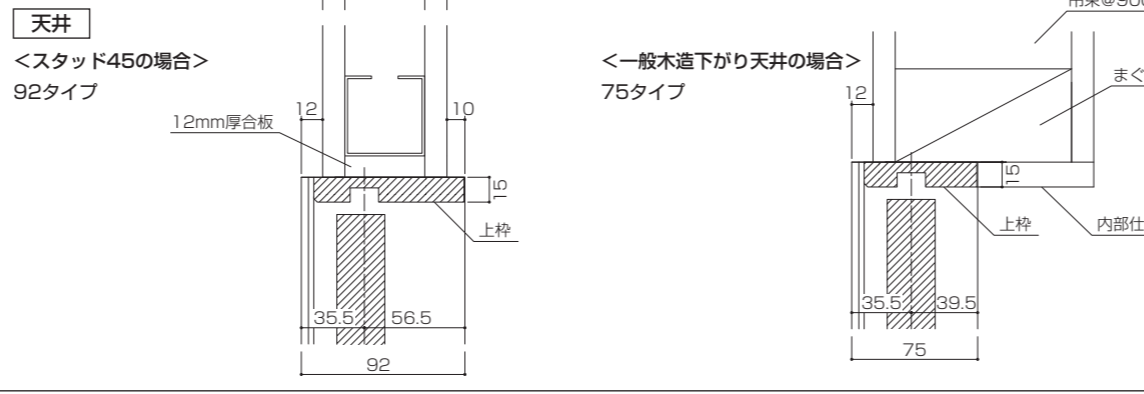
年月	ページ	内容
2018年6月	全ページ	枠見込75追加

製品寸法図 250926-JK-127CLP4SM



納まり図 250926-JK-127CLP4SM

固定枠



ホルムアルデヒド発散区分資料 施工業者様用

DAIKENクローク収納	F☆☆☆☆ <small>(住宅設備表示ガイドラインによる)</small>
--------------	---

この度はDAIKEN クローク収納をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表のようになっております。建築確認の際に本資料をご利用ください。

●製品の構成とホルムアルデヒド発散区分
規制対象外（F☆☆☆☆）

構成部位	内装仕上げ部分（表面）		内装仕上げ部分（裏面）	
	材 料 発散区分	備 考	材 料 発散区分	備 考
①扉：面材	化粧MDF 規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会 表示登録品：K-002058	表面と同じ	表面と同じ

規制対象外部位・告示対象外

枠	規制対象外部位：規制対象外（F☆☆☆☆）同等品質材料を使用
丁番/レールほか	告示対象外

◎製品に関する情報・お問い合わせ お客様センターにお問い合わせいただくか、弊社ホームページ(<https://www.daiken.jp/>)をご利用ください。

梱包部品の確認 250926-JK-127CLP4SM

組み立て前に部品数を確認してください。

	フラット	備 考
扉本体	1	
ピボット上	1	
ピボット下	1	
ガイドローラー	2	
スパナ	1	

	735	1190	1644	備 考
上下枠	L=705 2本	L=1160 2本	L=1614 2本	
縦枠	2本			2330高：L=2330、 2045/1945高：L=2045
上レール	L=704 1本	L=1159 1本	L=1613 1本	
ガイドストッパー	1個	2個	2個	
下レール	L=704 1本	L=1159 1本	L=1613 1本	
ピボット受け上用	1	2	2	レール取付済
ピボット受け下用	1	2	2	
レール取付けネジ	6	12	12	皿3.1×φ16
枠組立ネジ	8	8	8	スレンダービス 3.3×φ40
枠固定ネジ	8	8	8	長押しビス 3.3×φ55
連結ワッシャー	8	8	8	
連結キャップ	8	8	8	
召し合せ	-	2	2	左右兼用
召し合せ取付けビス	-	4	4	トラスビスφ3.5×16
ハンドル	1			トラスM4×L33・2本入り

安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

注意 ●吊り元のピボットは、ピボット受上、下用の穴に確実に差し込んでください。差し込みが不十分ですと、扉がはずれてしまい危険です。

●ピボット受の固定用ボルトは、同梱のスパナで確実に締めてください。ドライバーによる締めつけだけでは固定が不十分な為、扉がはずれてしまい危険です。

上レール
ピボット上
ピボット受上
ピボット受下用
固定用ボルト
扉
固定用ボルト

施工後の確認

- ガイドローラー・ピボットが確実に扉に差し込まれているか確認してください。
- ピボット受上・下用の固定用ボルトが確実に締まっているか確認してください。
- 下レールにゴミ・ホコリがたまっていないか、又木ネジが出っぱっていないか確認してください。
- 扉に段差や隙間が生じていないか確認してください。

●同梱の取扱説明書は必ず、お施主様にお渡しください。

扉がスムーズに開閉できるかどうか確認してください。

施工上のご注意

250926-JK-127CLP4SM

開口部の準備

- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保して下さい。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

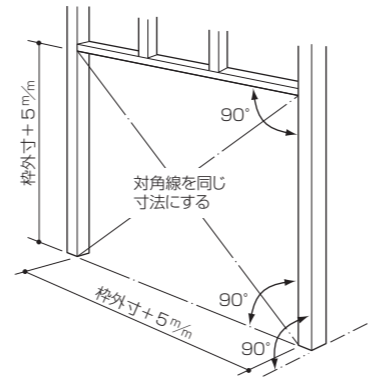
1. 壁下地の条件を確認

木下地	○
軽量鉄骨下地	○*1

*1 軽量鉄骨下地の場合は、12mm合板、サラタツピンネジ長さ50mm以上を現場手配してください。(納まり図参照)

2. 床下地材の条件を確認

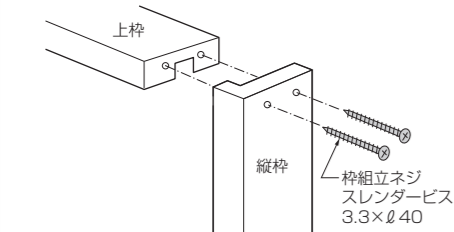
在 来	木質フロア	○	マ ン シ ヨ ン	二重床	○
	タイル	×		直張床	○*2
	クッションフロア	×	*2 厚み13mm以上		
	カーペット	×	*2 クッション性のある床材にはそのまま施工できません。オトユカ(マンション用直張り防音フロア)は施工部分の緩衝材を取除き、下地に際根太を使用してください。		
	畳	×			



本体の組み立て・施工

250926-JK-127CLP4SM

1. 枠の組立て

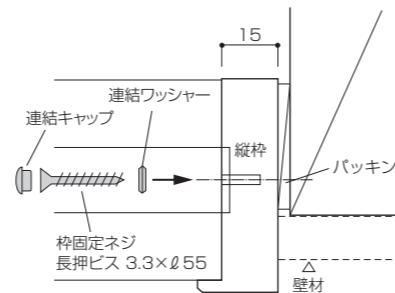


ビスの固定にトルク設定の強い電動ドリルや、インパクトドライバーは使用しないでください。

2. 縦枠の取付け

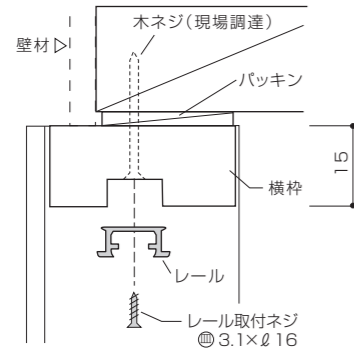
連結ワッシャーに連結キャップを取付けてください。

枠がゆがんで壁材と隙間が発生しないようにパッキンは図のような幅で接着してください。

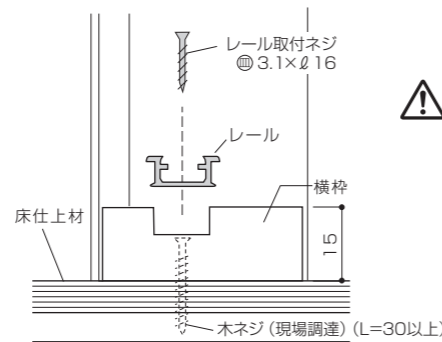


3. 上枠・上レールの取付け

枠がゆがんで壁材と隙間が発生しないようにパッキンは図のような幅で接着してください。



4. 下枠・下レールの取付け



※マンション直張床の場合(コンクリートビス L=20mm程度)

扉に必要な部品(スパナ)は扉を吊り込むまでに無くされない様に枠に袋ごと貼り付けるなどして保管ください。

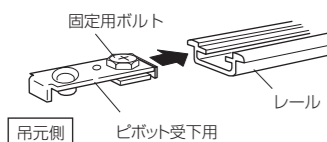
ピボット受の取付け

レールを枠に取り付ける前に、ピボット受をレールに取り付けてください。その際扉の開き勝手により、取り付け方向が異なりますので右表を参考に付けて下さい。

間口	扉の開き勝手	ピボット受の取付け方向と位置	
735mm 間口 (1枚扉)	吊元		縦枠 吊元側
735mm 間口 (左吊元) (1枚扉)	吊元		縦枠 吊元側
1190mm 1644mm 間口 (2枚扉)	吊元		縦枠 吊元側

注) 表示寸法は縦枠からの取り付け位置寸法です。

下レール



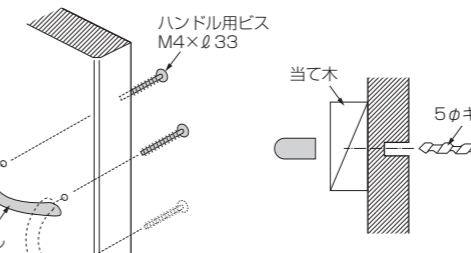
扉の取り付け

250926-JK-127CLP4SM

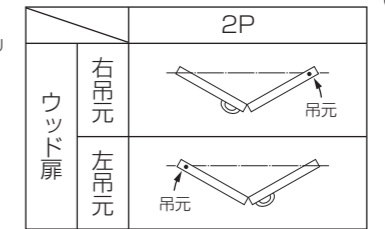
1. ハンドルの取り付け

ハンドルの取り付け位置(左右、縦横)を決め、扉裏面のリード穴を5φキリで貫通させ、把手を取り付けてください。

※ハンドルは扉1セットに1ヶです。 ※縦横選択可能



*吊元と反対側のパネルに取り付けてください。

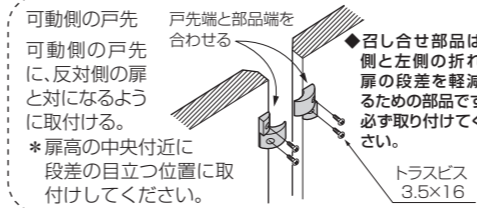


注意

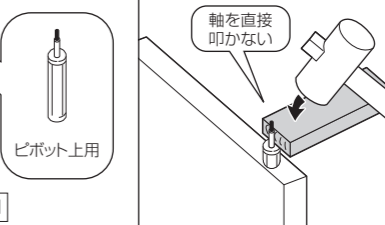
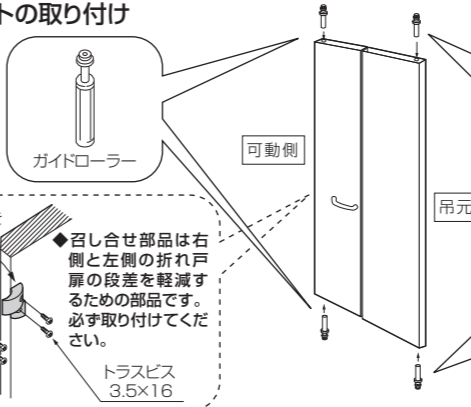
●ハンドルを縦付けにした場合に操作がしづらいと感じる方は、手を添えながら、両手で開閉を行ってください。

2. ガイドローラー・ピボットの取り付け

扉に、ガイドローラー、ピボットおよび召し合せ(1190、1644幅のみ)を取付けてください。



可動側の戸先に可動側の戸先に、反対側の扉と対になるように取付ける。
*扉高の中央付近に段差の目立つ位置に取付けてください。



ハンマーで叩いて取り付ける場合は、ケースに当て木して叩いてください。
※ピボット軸を直接叩くとピボットが破損する可能性があります。

注意

召し合せは開閉軌道上で、縦枠より最大7mmはみだします。収納内部の棚板、中仕切り板は干渉しない位置に取付けてください。

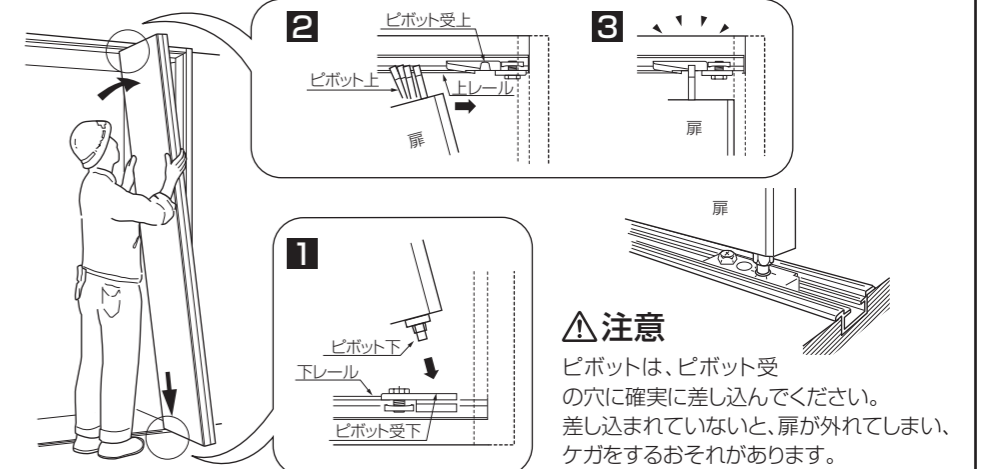
3. 扉の吊り込み

前項の『ピボット受の取り付け』の表に表示しているピボット受取り付け位置の寸法を参考に、固定用ボルトで仮止めしてください。

- 1 扉を折りたたんで斜めに持ち上げ、下部ピボット下を、ピボット受下に差し込んでください。
- 2 扉を折りたたみ斜めにしたままピボット上を上レールに差し込んでください。
- 3 レールに沿ってピボット上をピボット受方向へスライドさせ、ピボット上にすべり込ませてください。

扉の外し方

扉を折りたたんで持ち上げ、下用ピボットを下用ピボット受から外してください。

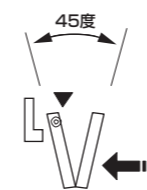


注意

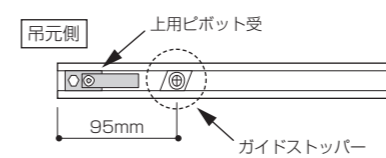
ピボットは、ピボット受の穴に確実に差し込んでください。差し込まれていないと、扉が外れてしまい、ケガをするおそれがあります。

4. ガイドストッパーの取り付け

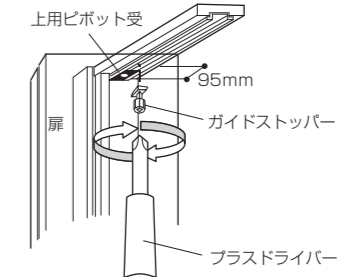
扉を45度程度に折りたたむ



上レールへのガイドストッパー取り付け位置



プラスドライバーを使って「ガイドストッパー」を上レール吊元側95mmの位置に取り付けてください。

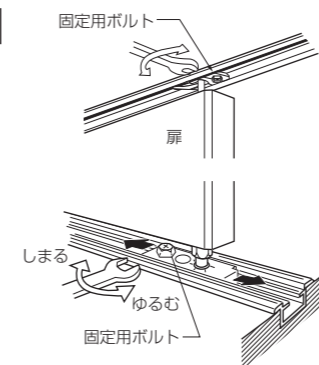


注意

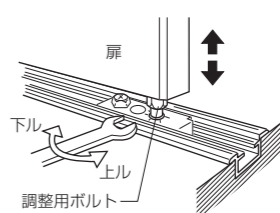
扉の開閉操作がスムーズに行えるよう「ガイドストッパー」は必ず取り付けてください。「ガイドストッパー」を付けずに開閉を行った場合、扉の故障や破損する恐れがあります。

扉の調整

左右の調整



上下の調整 6mm



注意

ピボットの固定用ボルトは、同梱のスパナで確実に締めてください。ドライバーによる締めつけだけでは固定が不十分な為、扉がはずれてしまい危険です。